



後世ある

五七

此の文章は、その内容から見て、
 鎌倉時代か室町時代のものであると推定される。文字は、
 流石の筆で書かれたもので、その筆致から見て、
 鎌倉時代末期か室町時代初期のものと推定される。
 文章の内容は、その内容から見て、
 鎌倉時代か室町時代のものであると推定される。
 文章の内容は、その内容から見て、
 鎌倉時代か室町時代のものであると推定される。
 文章の内容は、その内容から見て、
 鎌倉時代か室町時代のものであると推定される。
 文章の内容は、その内容から見て、
 鎌倉時代か室町時代のものであると推定される。
 文章の内容は、その内容から見て、
 鎌倉時代か室町時代のものであると推定される。
 文章の内容は、その内容から見て、
 鎌倉時代か室町時代のものであると推定される。
 文章の内容は、その内容から見て、
 鎌倉時代か室町時代のものであると推定される。
 文章の内容は、その内容から見て、
 鎌倉時代か室町時代のものであると推定される。
 文章の内容は、その内容から見て、
 鎌倉時代か室町時代のものであると推定される。
 文章の内容は、その内容から見て、
 鎌倉時代か室町時代のものであると推定される。
 文章の内容は、その内容から見て、
 鎌倉時代か室町時代のものであると推定される。



